

地球温暖化対策計画書

1 指定地球温暖化対策事業者の概要

(1-2) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	ファシリティマネジメント部施設管理課
	電 話 番 号 等	03-5843-1300
公表の 担当部署	名 称	ビジネスデザイン部渉外広報課
	電 話 番 号 等	03-5843-1300

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス :	
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所 :	ファシリティマネジメント部施設管理課
		所在地 :	東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号
		閲覧可能時間	平日 10:00~17:00 (祝日、年末年始は除く)
	冊 子	冊子名 :	
入手方法 :			
そ の 他	アドレス :		

(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2021	年度	事業所の使用開始年月日	2019	年	12	月	1	日
特定地球温暖化対策事業所	2023	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

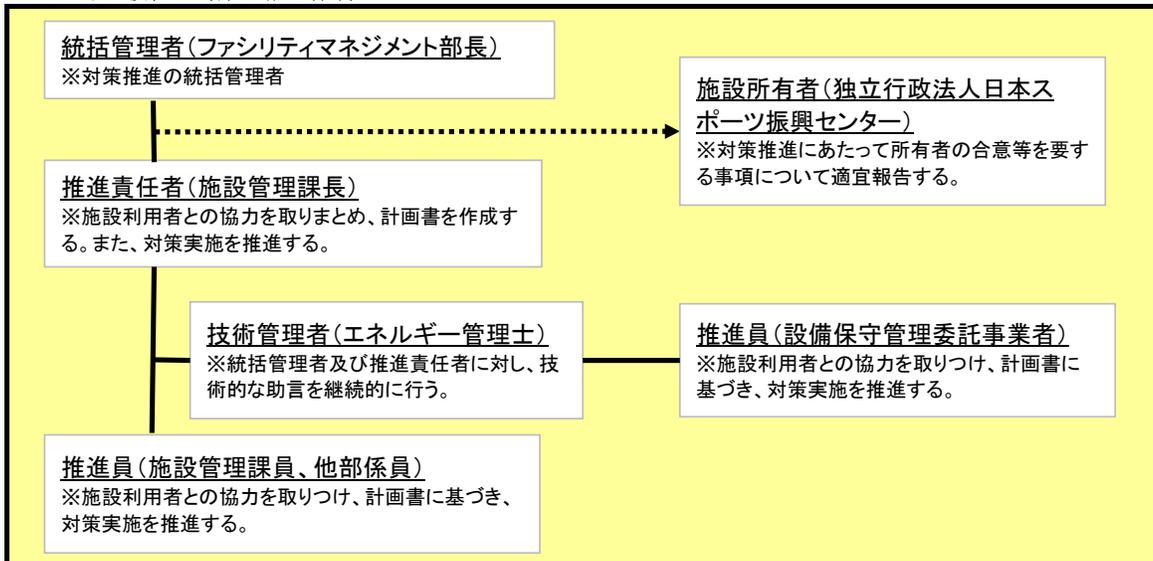
サステナビリティ運営・社会貢献として、国内スタジアム初のサステナビリティ運営を目指し気候変動対策に積極的に取り組みます。

- ・平常時は不要な照明・空調停止による省エネルギーを推進します。
- ・設備の運転方法改善や改良工事を通じて電気・水道使用量を低減します。
- ・現状の建築設備の性能を検証・分析し、より適切な運転のために必要な改修や調整（コミッションング）、ならびに運転の最適化方策を選択します。
- ・熱源・照明・換気・昇降機等の設備区分毎に、初期設計時に期待した性能効率が出ているのを、BAS/BEMSデータや実測データに基づき、専門技術者が客観的に評価します。
- ・スタジアム運営の観点から更なる環境負荷低減を行います。
- ・環境負荷低減のため、施設で発生するごみは適切な分別を行いリサイクル回収などの比率を高めて参ります。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

- ・大屋根先端部への建材一体型高効率結晶系シーソー太陽電池モジュールを設置、常時稼働させています。
- ・太陽光と風力のハイブリッドソーラー外灯を設置、常時稼働させています。
- ・買電分について、電力供給会社より再生可能エネルギーを調達、利用しています。

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2025年度から	2029年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	管理事務所及び防災センターにおける省エネルギーの継続的な取り組みに加えて、事業所全体の温室効果ガス排出量のうち約8割（第3計画期間以前排出係数に基づく）を占める買電量について再エネ電力を100%調達することにより、排出量の削減を図る。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当事業所から排出される特定温室効果ガス以外のガス（その他ガス）は、水道の使用及び下水道への排出に伴う二酸化炭素の排出である。したがって、稼働率に応じた水道使用量を管理し、節水の呼びかけ等により排出量を維持することを目標とする。			
削減義務の概要	基準排出量	15,445	t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	I-1
	排出上限量 （削減義務期間合計）	50,196	t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	35%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2030年度から	2034年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	引続き、再生可能エネルギーの活用や空調・照明の運用を最適化、運転監視・管理・記録・保守等を行うことにより、第4計画期間以上の削減を達成することを目標とする。			
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	引続き、稼働率に応じた水道使用量を管理し、節水へ取組みをおこなうとともに、状況に応じて設備投資等も検討する。			

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特定温室効果ガス （エネルギー起源CO ₂ ）	3,294	5,719	4,706	4,698	4,754
その他ガス	非エネルギー起源 二酸化炭素（CO ₂ ）				
	メタン （CH ₄ ）				
	一酸化二窒素 （N ₂ O）				
	ハイドロフルオロカーボン （HFC）				
	パーフルオロカーボン （PFC）				
	六ふっ化いおう （SF ₆ ）				
	三ふっ化窒素 （NF ₃ ）				
	上水・下水	22	23	31	38
合計	3,316	5,742	4,737	4,736	4,789

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
延べ面積当たり 特定温室効果ガス 年度排出量	17.2	29.8	24.5	24.5	24.8

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度： ()
<input checked="" type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法： ()

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 1
----------	-------

(4) 削減義務期間

2023年度から	2024年度まで
----------	----------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)				15,445	15,445	30,890
	削減義務率 (B)				8.00%	17.00%	
	排出上限量 (C = Σ A - D)						27,030
	削減義務量 (D = Σ (A × B))						3,860
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)				4,698	4,754	9,452
	排出削減量 (F = A - E)				10,747	10,691	21,438

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	<ul style="list-style-type: none"> 施設稼働率上昇による電気使用量の増加（4～10月） 冬季、外気温低下によるボイラ都市ガス使用量の増加（11、12月） 非常用発電設備燃料（A重油）の補給 前年度と比較して地中温度制御システム運転のため、熱源設備によるエネルギー使用量の増加 		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
			【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】		
1	110100	11_推進体制の整備	推進体制・役割・方針・取組内容等の決定	2022年度～	地球温暖化対策推進体制の決定、役割及び方針の明確化、取組内容の決定、点検の実施に取り組む。
2	110200	11_主要設備等の保全管理	主要設備等の保全管理	2019年度～	日々の巡回時に行う自主点検や年次での保守点検等により、保全に努める。
3	110300	11_計測・記録の管理	計測・記録の管理	2019年度～	自主点検に加えて、設備ごとに使用量を記録する。
4	110400	11_エネルギー使用量の管理	BEMSによるエネルギー使用量の管理及び運営へのフィードバック	2023年度～	BEMSにより運営管理にフィードバックを行うとともに、使用量を月ごとに把握し、月・年ごとに比較できるようにする。
5	120300	12_運転管理及び効率管理	部分負荷時の熱源運転の適正化	2021年度～	中間期における低負荷時のマニュアル運転の実施（熱源機器の停止・運転台数の減少）に取り組む。
6	120300	12_運転管理及び効率管理	部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化	2021年度～	中間期における低負荷時での熱源運転のマニュアル運用（熱源ポンプの停止・運転台数の減少）に取り組む。
7	120300	12_運転管理及び効率管理	熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整	2021年度～	季節毎に冷温水出口温度設定値の変更を実施する。
8	130100	13_空気調和の管理	ファンの間欠運転の実施	2022年度～	トイレ・機械室等の24時間運転しているファンの間欠運転を実施する。
9	130200	13_空気調和設備の効率管理	電気室PAC季節毎の運転管理	2021年度～	冬季～中間期（11月～4月頃）は電気室のPAC停止。温度監視をして適宜運転する。
10	150200	15_照明設備の運用管理	照明の人感センサーによる在室検知制御の導入	2022年度～	トイレ照明人感センサーの点灯時間を設定変更する。
11	150300	15_事務用機器等の管理	事務用機器の運転管理	2019年度～	省エネルギーの設定。長時間運転しない場合は停止させる。
12	160100	16_昇降機の運転管理	昇降機の運転管理	2019年度～	利用状況や用途別に運転台数の調整を行う。利用者に階段の利用を推奨する掲示を行う。
13	160200	16_建物の省エネルギー	居室の昼休み及び時間外の消灯及び間引き点灯	2022年度～	管理事務所における不要箇所の消灯及び間引き点灯の実施。
14	120300	12_運転管理及び効率管理	夏季、便座暖房温水器の停止	2025年度～	夏季はトイレ便座暖房及び温水器を停止する。
15					
16					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No.	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
17					
18					
19					
20					
		(再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況)			
71	190200	19_低炭素電力・熱の利用	再エネ100%電力メニューの契約	2025年度～	電気事業者からの買電について、再エネ100%電力メニューを選択、契約する。
72					
73					
		【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】			
81					
82					
83					
		【排出量取引の計画及び実施の状況】			
91					
92					
93					